

よりそう

Side by Side



第70号

編集責任：三好

編集担当者 南三好

ボランティア活動の主役は、被災された方の心。

4度目の遠野まごころネット。陸前高田より2月ほど遅れた状況の釜石市箱崎町箱崎地区の瓦礫撤去・泥出しの作業に参加。8/20までお盆期間の現地では合同慰霊祭が行われた。そんな中、箱崎地区での現場作業を通じて被災された方々に信頼され、瓦礫撤去のハード面とカマ隊活動というソフト面の両面でボランティアをしてきた三好コンナン(仮名)にお話を伺うことができた。

「大震災後の「心のケア」が重要と言われる。カマ隊のような「互いにいたるく」活動に比べ、瓦礫撤去は、被災した方々と直接かかわる機会のある活動と思われがちだ。

しかし継続して同じ顔ぶれの作業隊が瓦礫撤去作業に汗を流す中で、被災した方の心にボランティアへの信頼感が生み出し、「いつもありがとう」と声かけやあいさつをいたす本音の要望もほやきやフレームのような形であがってくる。その声に対応してこそ、真に被災した方の「心のケア」に存するのだという。

被災された方々の切なる望み、一番のなごみは、自宅や敷地がきれいに片づくこと。

日々、瓦礫の散乱する自宅・風景を思いの辛さ。片づいた自宅を見て涙を流して感謝される経験から、一見がちな疲労感と心の深い関係に気づかされた。

今後も息長く地道な活動を続けたい。

(取材：南三好、東京⇄遠野 弾丸旅行バスリポーター)

仮設住宅で起きていること

新島山 明子さん(看護師)

ある行政区の仮設住宅を一軒一軒訪ね、お話を聞きました。

- ① 雑草のある仮設住宅地、雑草の刈り仮設住宅地がある。
- ② 物資の配達に ④ 仮設住宅地と ⑤ 仮設住宅地がある。
- ③ 碎石場 近くにあり、扇風機が壊れている。(しかし、他の仮設住宅地には扇風機が壊れている)
- ④ ティサービスが受けられない
- ⑤ 仮設住宅地の風通しが少し悪く、高層者の方で四輪車を押して歩いて歩ける。
- ⑥ 80F前後の単身の女性が訪れられる。

(聞き手：三好)



画：匿名希望 自陣の運送と片づき

8/23(火) 天気 11℃ 午後弱雨

気温 22.0℃ 21.0℃

降水確率 50%

※ まごころ種 募集

くわしくはHPへ

8/23(火) ボランティアミーティングはPM15:30~@体育館
8/24(月)の宿泊：149人、活動：289人

リマシヤウ!!